

星を見るタベ

2026年8月8日(土) / 22日(土)

*このリーフレットは科学館天文サポーターの協力により作成しています。

2026年8月中旬
20時頃の空(川崎)



StellaNavigator / アストロアーツ

2026年8月の星空

8月の宵の夜空では、頭の真上付近に明るい1等星が見つかります。こ
と座のベガです。日本では織姫星という方がわかりやすいでしょう。ベガ
から南に目を移すとベガよりやや暗い1等星がもう1つ見つかります。わ
し座のアルタイル、こちらは彦星です。合わせて七夕(たなばた)のカッ
プルの星となります。七夕のお話では二人の間にカササギが橋をかけるの
ですが、星座では間にはくちょう座があります。やや北寄りに輝くはくち
ょう座の1等星のデネブと合わせて、3つの1等星で夏の三角を形作り
ます。

七夕というと7月7日の行事ですが、起源が旧暦(太陰太陽暦)でのお
話なので今のカレンダーとは約1ヶ月のずれがあります。今年の旧暦7月
7日(伝統的七夕)は8月19日です。また、今年はペルセウス座流星群
の極大日である8月13日が新月で、流星群も観望条件が良いようです。
夜遅くに流星が見られることを期待して、空を眺めてみませんか。

これからの天体現象

●注目現象

- 8月 13日 ペルセウス座流星群が極大(前後数日が好機)
- 15日 金星が東方最大離角(9月下旬頃まで宵の明星として輝く)
- 19日 伝統的七夕(旧暦7月7日)
- 21日 月がさそり座のアンタレスに接近
- 9月 2日 金星とおとめ座のスピカが接近
- 14日 金星と細い月が接近
- 19日 金星が最大光度(-4.8等)

●月の満ち欠け

8月	13日	新月	9月	4日	下弦
8月	20日	上弦	9月	11日	新月
8月	28日	満月	9月	19日	上弦

2026 年 8 月の観望天体（予定）

【月】

月は地球の周りをまわる衛星で、太陽と違い自身で光り輝いている星ではありません。太陽の光を反射して明るく見えます。昼間の太陽の光は紫外線が強いですが、月光はどうでしょうか？

実は月光に含まれる紫外線はごくわずかで、日焼けの心配はありません。太陽からの紫外線の大半は月面に吸収され、地球に届く月光の紫外線量は太陽の光の数万分の 1 以下です。月の光はとても明るいですが、安心して見ることができますね。

【ダブルダブルスター（こと座 ϵ 星）】

ベガの近くに見えること座 ϵ 星は、地球から約 160 光年の距離にあります。肉眼では一つの星に見えますが、双眼鏡で見ると 2 つに分かれて見え、倍率の高い望遠鏡で見るとそれぞれがまた 2 つに分かれて見えるという面白い星です。こと座 ϵ 星は二重の二重星（ダブルスター）ということで「ダブル・ダブルスター」の呼び方で親しまれています。

【アルビレオ（二重星）】

はくちょう座のくちばしにあたる 3 等星で、望遠鏡では 2 つの星が並んで見える二重星です。色の対比が美しいことでよく知られています。長年、この 2 つの星が互いの重力で結びついた「連星」なのか、それとも偶然同じ方向に見えているだけの「見かけの二重星」なのか議論されてきました。近年の高精度な観測により、現在では見かけの二重星である可能性が高いと考えられています。

トピック【流れ星】

夜空を横切る流れ星の正体は、宇宙を漂う小さなチリの粒です。秒速数十 km で大気へ突入した粒の前方では、空気が急激に押しつぶされます。圧縮された空気は温度が劇的に上がり、その前面は数千度もの高温になってプラズマ化し、まばゆい光を放ちます。私たちが目にする流れ星の輝きは粒が燃える火花ではなく、押しつぶされた空気が放つ光です。

こうした粒の多くは熱で蒸発しますが、激しい熱や空気抵抗に耐え抜いた大きな塊は地上に到達し「隕石」となります。また、地上に届くのは隕石だけではありません。大気で燃え尽きなかった目に見えないほど微小な宇宙のチリ（宇宙塵・微小物質）も、日々大量に地上へ降り注いでいます。

隕石の表面には、熱で溶けて固まった黒い膜が見られ、大気圏突入の過酷さを物語っています。当館では、2 階の展示室で本物の隕石を展示しており、間近で見て触れることができます。貴重な実物を、ぜひ観察してみてください。

星を見るタベ
の感想をぜひご記入ください。
（所要時間 1～2 分程度）



次回は

9月19日（土）月・ガーネットスター

受付時間：18:45～19:00

先着順で整理券を配布します。

プラネタリウムでの解説の後、番号順にアストロテラスへ案内し、望遠鏡で観察していただきます。

※雨天・曇天等観察が難しいと予想される場合は中止。

（開催の有無は、当日 15 時に当館 HP・X でお知らせします。）

ぷりんのひとことメモ

空に浮かぶお月さまって、小さく見えるけど実は地球の約 1/4 の大きさがあるんだよ。

地球に似た惑星（水星、金星、火星）で衛星があるのは、火星だけなんだけど、その 2 つの衛星の大きさは、どちらも火星の 1/300 しかないんだ。地球のお月様は大きくて不思議な天体だね。

最新の科学館の情報は
ホームページ・SNS を
ご確認ください。

公式ホームページ



X



Instagram



かわさき
雷と緑の科学館
Kawasaki Municipal Science Museum
サイエンスプリン

